

東京の鉄道における持続可能な運行に関する検討会（第2回）

議事要旨

■日 時：令和7年11月28日（金）13:30～15:00
■場 所：東京都庁第二本庁舎10階 201・202会議室

■主な議事：

(1) 設置要綱の変更

・東京都から設置要綱の変更について説明があった。

(2) 取り組むべき課題（案）について

・東京都から資料のとおり説明があった。

(3) 意見交換（主な意見）

・生産年齢人口の減少に伴う今後の技術者不足が見込まれる中で、現在の鉄道の強みを、将来においても高いサービスレベルで確保していくために、基本的な考え方としては、集約一元化が有効であると思う。

・持続可能な運行確保に向けて取り組むべき課題は多岐に渡ることから、取組についてハード・ソフトの視点や検討・実施に要する期間（短中長期）に区分したうえで、公共性の評価やコストと効果の観点からどの課題に対する取組に注力していくべきか整理する必要があるのではないか。

・自動運転化への取組や共通仕様の設備等の導入による効率化などのハードに係る取組は重要であると考える。これらの取組の中には時間やコストがかかる中長期的な課題に対する取組があるため、重要度や緊急度、実現可能性等を踏まえ、どのような官民連携した取組を実施していくか議論していきたい。あわせて、スマールスタートが可能な取組を検討することも有効と考える。

・作業要員の確保は、非常に重要な取組であると考える。例えば、人材採用の裾野を拡大する観点から、教育機関と連携した取組等を検討していただけると大変ありがたい。

・持続可能な運行に向けては、メンテナンス業務にかかる人材確保や作業効率の向上が必要であるため、例えば、メンテナンスに伴う一部区間の運休や終電繰上げや駅業務の省力化などの取組に対する社会の理解増進を図ることも重要であると考えている。

・これまでの相直各社と連携した取組および国や業界全体等で実施している取組も踏まえて、今後の議論・検討が進むことが望ましい。

以上